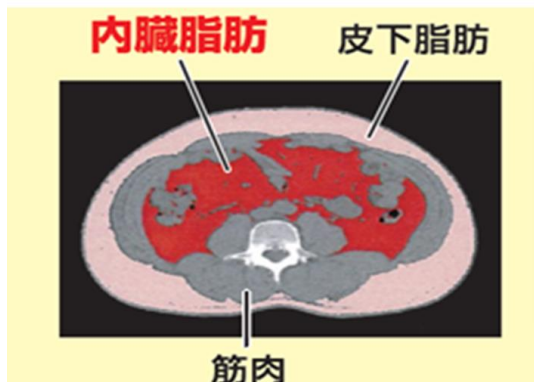


当院で内臓脂肪が測定できます

内臓脂肪の過剰な蓄積は、生活習慣病の発症進展と密接に関係しています。

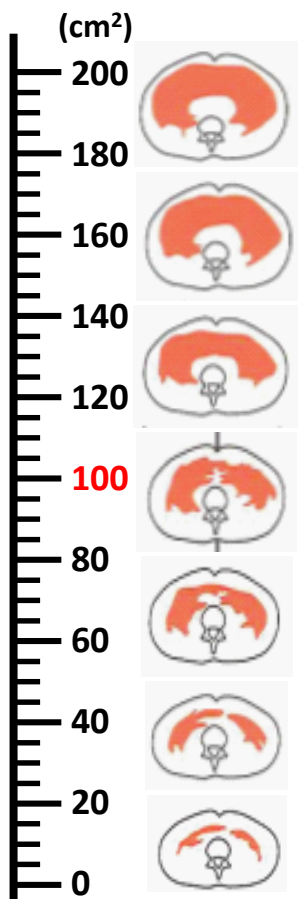


腹部X線CT撮影による内臓脂肪検査(左図)は、主に人間ドックなどの健診目的で使用されており、日常診療の一環として撮影することは非常に困難です。

当院に導入している内臓脂肪検査器には、「腹部生体インピーダンス法」という原理が用いられ、おへそと背中の中に数秒間非常に弱い電流を流すだけで、自動的に腹囲と内臓脂肪面積が算出されます。

CT撮影と違ってX線被爆の心配がなく、非常に弱い電流で測定するので、一切何も感じませんし、痛くも痒くもありません。

内臓脂肪面積と腹部断面イメージ



おなかの奥深くで増えた内臓脂肪から分泌される様々な物質が、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などを引き起こします。

測定結果は面積(cm²)で表され100cm²を超える人は「内臓肥満症」です。

内臓脂肪を減らせば、血糖値、HbA1c、血圧、コレステロール、中性脂肪の数値はいずれも大きく改善されます。

定期的に測定することで、治療効果を実感し一層の改善を目指しましょう。



測定方法

—腹部にベルトを巻くだけで内臓脂肪面積を測定—



ボタンを押してから 約6秒で測定が完了

検査費用(健康保険適応外)は、初回測定 ¥ 1,500、二回目以降 ¥ 1,000です。

測定が必要な患者様には医師・スタッフからお奨めしていますが、測定をご希望の方は、どなたでも遠慮なくご相談下さい。診療時間内であれば、いつでも予約なしで測定が可能です。